

親子読書推進事業

家庭における乳幼児期の 読書環境に関する調査報告

狛江市立中央図書館

平成 23（2011）年 4 月

目次

家庭における乳幼児期の読書環境に関する調査について	3
調査実施期間.....	3
調査実施場所.....	3
調査対象.....	3
集計結果報告.....	4
1) 回答者の年齢について	4
●アンケートを記入される方は、おいくつですか?	4
●お子さんは、おいくつですか?	4
2) 読み聞かせについて	5
●絵本などの読み聞かせをしていますか? (または、過去にしていたか?)	5
●はじめて読み聞かせをしたのは、いつ頃ですか?	5
●読み聞かせをしてあげるのは、どんな時ですか?	6
●おもに読み聞かせをするのは、どなたですか?	6
●お子さんに絵本を読んであげることは、楽しいですか?	6
●どのような目的で読み聞かせをして (または読書をすすめて) いますか?	7
3) お子さんと本について	8
●お子さんは、本が好きですか?	8
●おうちの中でお子さんの手が届くところに本がありますか?	8
●絵本や子どもの本はどのようにして手に入れていますか?	9
●借りる場合はどこから借りますか?	9
●絵本や子どもの本は、どのようにして選んでいますか?	9
●本を読む子を育てるには、何が必要とお考えですか?	10
4) ブックスタート事業について	11
●狛江市立図書館では、0歳から登録して図書貸出券を作れることを知っていますか? ...	11
●狛江市の3・4ヶ月児健康診査児に実施しているブックスタートは、受けましたか? ...	12
○説明員のメッセージに共感できましたか?	12
○読み聞かせを行う機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか?	12
○図書館を利用する機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか?	12

5) 中央図書館や市内図書室の利用について.....	13
●お子さんと一緒に（またはお子さんと）図書館・図書施設をよく利用しますか？	13
●よく利用する図書館・図書施設は、どこですか？	13
●よく利用する曜日はいつですか？	13
●よく利用する時間帯はいつですか？	14
●おはなし会などの子ども行事に、参加したことがありますか？	14
6) 「子どもの読書」や「図書館」についてのご希望やご意見（自由記述）	15
資料：アンケート用紙（内容共通）	27

家庭における乳幼児期の読書環境に関する調査について

狛江市立中央図書館（以下、中央図書館）では、平成 15 年度から「ブックスタート事業」¹を実施しています。これは 1992 年（平成 4 年）にイギリスではじまったブックスタート運動がモデルで、日本でも平成 12 年の「子どもの読書年」以降に各地で広まりました。狛江市では、それ以前に実施していた「誕生記念樹」の贈呈に替えて行われるようになりましたが、このブックスタート事業をはじめとする乳幼児への絵本の読み聞かせの啓発活動は、平成 9 年に開始した 0～3 歳児の親子を対象とした「親子で楽しむおはなし会」や館内の赤ちゃん絵本コーナーの設置などと合わせて、図書館における児童サービスの一環として力を入れて取り組んできました。

平成 22 年度にはブックスタート事業の開始から 7 年を経過して、その初年度にあたる子どもたちが小学校に入学しました。これを踏まえて、ブックスタート事業開始前の小学 2 年生、ブックスタート事業開始後の小学 1 年生の世帯及び中央図書館や各図書室に来館している乳幼児のいる世帯を対象に、狛江市の子どもの読書環境の現状把握のための調査を行いました。この結果をもとに、今後も図書館における児童サービスの向上に努めると共に、狛江市の子どもの読書活動推進に関する取り組みに反映させていきたいと考えています。

調査実施期間

平成 22 年 12 月 8 日から平成 23 年 1 月 31 日まで

調査実施場所

- ① 狛江市立中央図書館および地域センター図書室・西河原公民館図書室
- ② 狛江市立小学校

調査対象

小学 2 年生までの子どもがいる世帯

- ① 図書館・図書室の来館者
- ② 小学校全 6 校の 1 年生と 2 年生

¹ 狛江市の 3・4 ヶ月児健康診査の会場で、赤ちゃん絵本と中央図書館が推薦する絵本リストや図書館の利用案内などを入れた布バックを手渡し、絵本を通じたふれあいの時間を持つことの大切さを伝える事業

集計結果報告

表 1 調査票回収枚数の内訳

※（ ）内の数値は配布枚数

	0～2歳	3～5歳	6歳以上	1年生	2年生	合計
中央図書館	52	38	16	—	—	106
市内図書室	18	22	16	—	—	56
狛江第一小	—	—	—	57 (97)	41 (81)	98
狛江第三小	—	—	—	51 (92)	38 (82)	89
狛江第五小	—	—	—	59 (99)	40 (73)	99
狛江第六小	—	—	—	44 (82)	55 (88)	99
和泉小	—	—	—	59 (94)	53 (90)	112
緑野小	—	—	—	60 (102)	52 (95)	112
合 計	70	60	32	330 (566)	279 (509)	771
回 収 率				58.3%	54.8%	

6歳以上：6歳児のみで、私立小学校1、2年生の回答はありません。

1) 回答者の年齢について

図書館・図書室で回収した分について、未就学児の子どもが複数人（兄弟姉妹がいる。）世帯では、それぞれの年齢ごとに1カウントして集計しています。今回は、ブックスタート事業を開始した初年度にあたる小学1年生との比較のため、小学2年生にも同様の調査をしました。

●アンケートを記入される方は、おいくつですか？

	20歳代	30歳代	40歳代	その他	無回答
未就学児	10	76	31	0	1
1年生	9	184	134	2	1
2年生	5	140	128	4	2

●お子さんは、おいくつですか？

	0～2歳	3～5歳	6歳以上	1年生	2年生
回答数	70	60	32	330	279

2) 読み聞かせについて

この設問では、どのように読み聞かせが行われているかを聞きました。小学2年生がいる世帯と小学1年生がいる世帯、未就学児の世帯を比較することで、ブックスタート事業の効果を読み取ることができます。

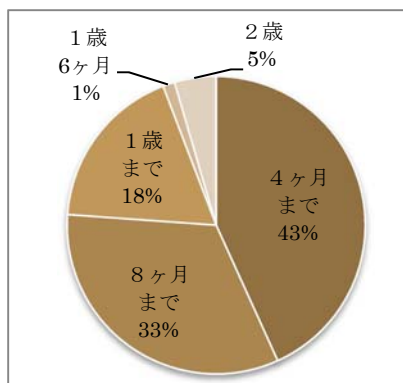
●絵本などの読み聞かせをしていますか？（または、過去にしていましたか？）

	ほぼ毎日	ときどき	ほとんどしない	したことがない
0～2歳	50	18	1	1
3～5歳	43	15	2	0
6歳	20	10	2	0
未就学児計	113	43	5	1
1年生	148	150	32	0
2年生	106	130	41	2

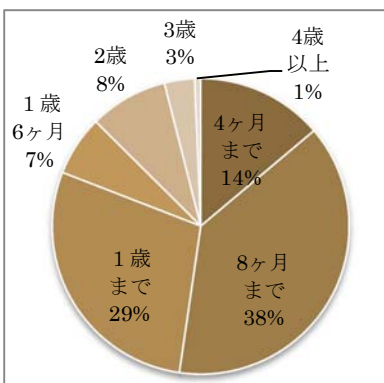
●はじめて読み聞かせをしたのは、いつ頃ですか？

	4ヶ月まで	8ヶ月まで	1歳まで	1歳6ヶ月	2歳	3歳	4歳以上	無回答
0～2歳	38	16	10	0	3	0	0	3
3～5歳	22	23	9	1	3	0	0	2
6歳	7	12	9	1	1	0	0	2
未就学児計	67	51	28	2	7	0	0	7
1年生	42	117	87	20	26	10	2	26
2年生	35	79	84	20	25	7	2	27

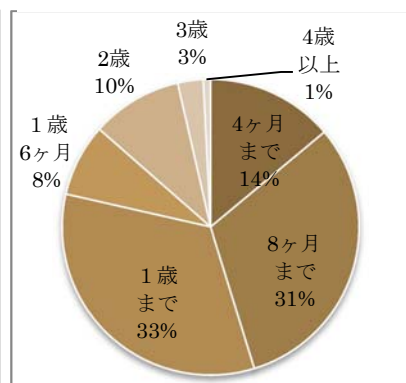
未就学児（0～6歳児がいる世帯）



1年生（ブックスタート開始初年度）



2年生（ブックスタート実施なし）



ブックスタート事業が実施される前（小学2年生がいる世帯）と開始初年度（小学1年生がいる世帯）を比較すると、1年生の「8ヶ月まで」が7%増加し、3・4ヶ月健診時にブックスタートを受けた1年生の世帯で、読み聞かせを開始する時期が早まっていることがわかります。これは未就学児の結果でも明らかで、特に「4ヶ月まで」から「1歳まで」を合わせて比較すると、小学2年生は78%、小学1年生は81%、未就学児94%となり、ブックスタート事業の広まりと共にその開始時期も早まったといえます。

●読み聞かせをしてあげるのは、どんな時ですか？

	遊びの中で	お昼寝・夜寝る前	その他	無回答
0～2歳	50	39	3	1
3～5歳	33	52	2	0
6歳	18	29	1	0
未就学児計	101	120	6	1
1年生	142	258	19	5
2年生	130	199	14	12

「その他」には、読んでとせがまれた時や、病院などの待合い時間に、という回答がありました。

●おもに読み聞かせをするのは、どなたですか？

	母親	父親	祖父母	その他	無回答
0～2歳	68	28	8	1	0
3～5歳	58	26	4	3	0
6歳	30	14	1	3	0
未就学児計	156	68	13	7	0
1年生	313	76	17	12	4
2年生	263	53	20	4	9

「その他」には、兄弟姉妹や保育士の先生などの回答がありました。

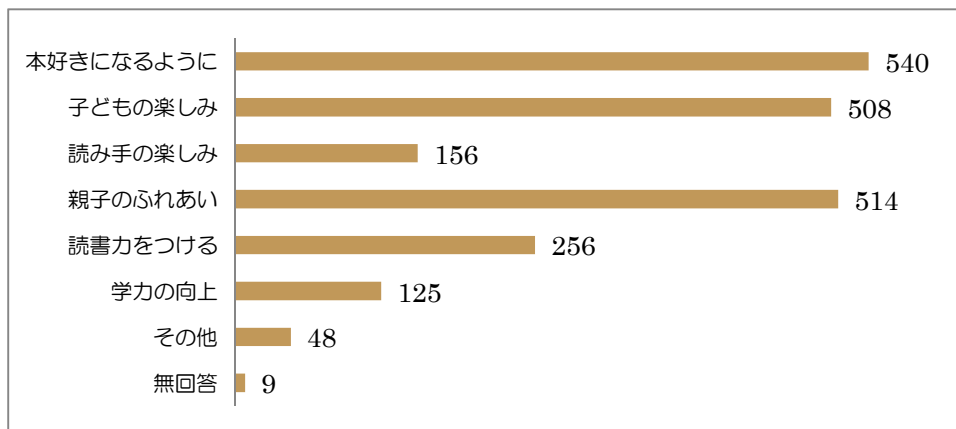
●お子さんに絵本を読んであげることは、楽しいですか？

	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
0～2歳	64	0	5	1
3～5歳	54	0	6	0
6歳	29	0	3	0
未就学児計	147	0	14	1
1年生	251	1	69	9
2年生	212	5	46	16

全体で 82%の方が「はい」と答えています。また、「どちらともいえない」理由としては、基本的には子どもが喜ぶので読んであげたいが、一方で時間に余裕のない時や疲れている時、義務感で負担に感じるという意見がありました。

●どのような目的で読み聞かせをして（または読書をすすめて）いますか？

	本好きになるように	子どもの楽しみ	読み手の楽しみ	親子のふれあい	読書力をつける	学力の向上	その他	無回答
0～2歳	51	52	13	48	14	10	4	0
3～5歳	45	43	17	47	17	10	6	0
6歳	27	27	16	26	12	12	2	0
未就学児計①	123	122	46	121	43	32	12	0
1年生②	230	212	66	215	125	54	14	6
2年生③	187	174	44	178	88	39	22	3
合計 (①+②+③)	540	508	156	514	256	125	48	9



「その他」として、感情豊かに育つように、情操教育のため、といった回答が多数ありました。



3) お子さんと本について

読み聞かせの他にも、子どもと本を出会わせる手段はさまざまあります。乳幼児期から小学校低学年にかけては特に、身近に本がある環境づくりとそれを与える側の意識が大きく影響します。

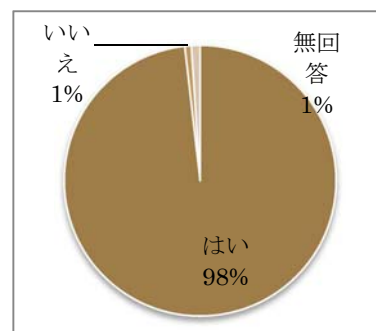
●お子さんは、本が好きですか？

	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
0～2歳	59	0	11	0
3～5歳	57	0	3	0
6歳	29	0	3	0
未就学児計	145	0	17	0
1年生	258	6	63	3
2年生	204	3	65	7

未就学児では90%が「はい」と答えているが、1年生は79%、2年生は75%と割合が下がっています。「読み聞かせ」だけを楽しんでいた時期から、小学校に上がって「自分読み」の機会も増え、さらに本の世界以外に興味の対象が広がっていく中で、読書意欲に個人差が生じると感じている親御さんが多いようでした。

●おうちの中でお子さんの手が届くところに本がありますか？

	はい	いいえ	無回答
0～2歳	67	3	0
3～5歳	60	0	0
6歳	32	0	0
未就学児計	159	3	0
1年生	325	2	3
2年生	273	1	5



「いいえ」の理由として、子どもが小さいうちは読むときにだけ渡すため、といった本の汚損や破損を気遣う意見があり、身近に本がないということではないようでした。

●絵本や子どもの本はどのようにして手に入れていますか？

	購入する	借りる	その他	無回答
0～2歳	54	60	11	1
3～5歳	46	56	8	0
6歳	24	32	0	0
未就学児計	124	148	19	1
1年生	256	289	29	2
2年生	228	237	26	5

入手方法として、購入も借用もどちらも利用している世帯が多かったです。借用しない理由としては、幼いうちは衛生面に不安があるという意見もあり、出版社や企業からの頒布絵本の定期購読を利用していたり、祖父母や友人からプレゼントとして贈られたりという回答がありました。

●借りる場合はどこから借りますか？

	図書館 図書施設	保育園 幼稚園	学校	児童館	その他	無回答
0～2歳	64	2	5	7	0	6
3～5歳	58	8	7	6	0	0
6歳	31	2	17	6	0	0
未就学児計	153	12	29	19	0	6
1年生	275	18	247	24	8	5
2年生	236	14	198	16	5	11

「その他」として、おけいこ先や塾で借りる、といった回答がありました。

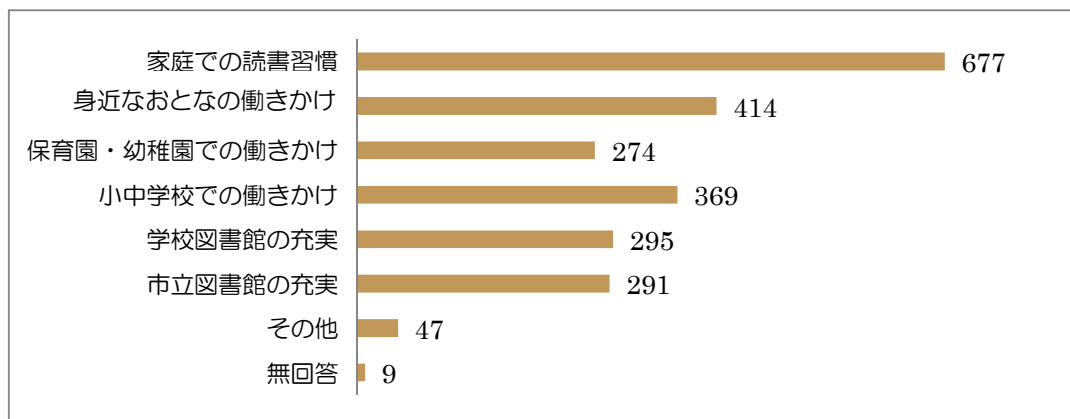
●絵本や子どもの本は、どのようにして選んでいますか？

	図書館	書店	新聞・雑誌	推薦リスト	その他	無回答
0～2歳	60	38	8	28	9	1
3～5歳	52	29	11	23	13	1
6歳	31	21	11	15	5	0
未就学児計	143	88	30	66	27	2
1年生	253	187	59	120	44	4
2年生	204	173	46	76	30	6

「その他」には、インターネットで出版社や書店のサイトから情報収集しているという回答がありました。また、子どもが自ら選んだものを優先する、良い絵本を与えたいが何を選んで良いかわからない、親自身が子どもの頃に読んでいた本を懐かしく思いながら一緒に楽しんでいるといった意見もありました。

●本を読む子を育てるには、何が必要とお考えですか？

	家庭での 読書習慣	身近なおとな の働きかけ	保育園・幼稚園 での働きかけ	小中学校で の働きかけ	学校図書館 の充実	市立図書館 の充実	その他	無回答
0～2歳	62	36	26	20	20	25	4	0
3～5歳	57	30	24	15	15	24	4	0
6歳	32	24	14	18	17	21	2	0
未就学児計①	151	90	64	53	52	70	10	0
1年生②	281	186	111	167	124	114	22	0
2年生③	245	138	99	149	119	107	15	9
合計 (①+②+③)	677	414	274	369	295	291	47	9



回答者のお子さんの年齢によって、身近な機関への期待が寄せられていますが、いずれも家庭や保護者の取り組みを重視している結果となりました。日頃から、身近な大人が読書する姿を見せる必要があるとする一方で、忙しくて時間が取れず、自分自身がなかなか本に親しむ機会が持てないことから、それをプレッシャーに感じているという意見もありました。



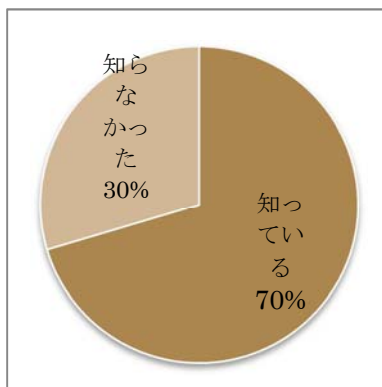
4) ブックスタート事業について

ブックスタートを開始する前に比べて、赤ちゃん絵本の出版点数が増えるなど、乳幼児に対する読み聞かせの関心や意識が世間的にも非常に高まっています。説明員のメッセージにも90%以上の人共感できると回答し、さらに近年では、ブックスタートを受ける以前から、絵本の読み聞かせを胎教として行っていたり、積極的に図書館を利用しているという回答もあり、ブックスタートが直接のきっかけとは言えないという意見が「どちらともいえない」に集まりました。また、ブックスタートを受けていない理由としては、対象年齢の時には粕江市外に住んでいて、他市で受けた（または知らなかった）という意見が多数ありました。

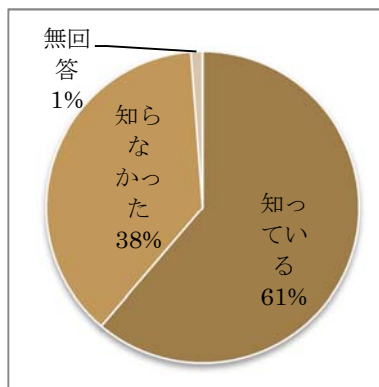
●粕江市立図書館では、0歳から登録して図書貸出券を作れることを知っていますか？

	知っている	知らなかった	無回答
0～2歳	46	24	0
3～5歳	41	19	0
6歳	27	5	0
未就学児計	114	48	0
1年生	202	124	4
2年生	146	126	7

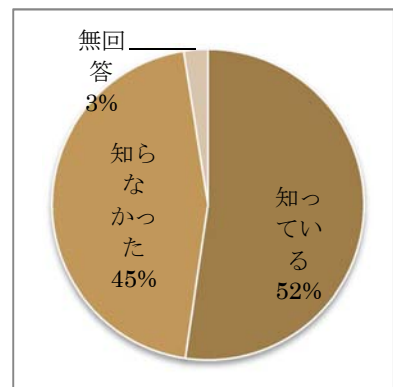
未就学児（0～6歳児がいる世帯）



1年生（ブックスタート開始初年度）



2年生（ブックスタート実施なし）



ブックスタートで手渡す資料の中には図書館の利用案内も含まれるため、徐々にそれが周知されてきているようです。また、「知っているが登録していない」という意見もあり、特に未就学児の場合、保護者の貸出券を利用するので必要ない、もう少し大きくなって自己管理ができるようになったら登録させたい、という意見もありました。

●狛江市の3・4ヶ月児健康診査児に実施しているブックスタートは、受けましたか？

	はい	いいえ	無回答
0～2歳	49	21	0
3～5歳	44	16	0
6歳	19	13	0
未就学児計	112	50	0
1年生	184	139	6
2年生	回答対象外(ブックスタート実施なし)		

○説明員のメッセージに共感できましたか？

	できた	できなかった	どちらともいえない	無回答
0～2歳	47	0	2	0
3～5歳	37	0	6	1
6歳	14	1	1	3
未就学児計	98	1	9	4
1年生	142	1	31	10
2年生	回答対象外(ブックスタート実施なし)			

○読み聞かせを行う機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか？

	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
0～2歳	36	0	12	1
3～5歳	27	1	15	1
6歳	12	2	3	2
未就学児計	74	3	30	5
1年生	104	7	62	11
2年生	回答対象外(ブックスタート実施なし)			

○図書館を利用する機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか？

	はい	いいえ	どちらともいえない	無回答
0～2歳	28	4	16	1
3～5歳	20	5	18	1
6歳	11	2	4	2
未就学児計	58	11	38	5
1年生	83	21	69	11
2年生	回答対象外(ブックスタート実施なし)			

5) 中央図書館や市内図書室の利用について

中央図書館を中心に在住地区によって最寄りの地域センター図書室の利用があります。市境では、調布市や世田谷区の図書館を利用しているとの回答もありました。年齢が低いお子さんのいる世帯ほど、平日の午前中の利用が多く、そのほとんどが午後の早い時間までに利用しています。また、小学生のお子さんがある世帯では、土日曜や特に長期休業期間などに関するご意見がありました。年齢ごとに、季節や気候が利用状況に影響します。

●お子さんと一緒に（またはお子さんと）図書館・図書施設をよく利用しますか？

	月2回以上	月1回くらい	年に数回	利用していない	無回答
0～2歳	46	12	7	5	0
3～5歳	40	14	3	1	2
6歳	25	5	2	0	0
未就学児計	111	31	12	6	2
1年生	102	96	79	49	4
2年生	71	68	104	34	2

●よく利用する図書館・図書施設は、どこですか？

	中央図書館	センター図書室	西河原図書室	その他	無回答
0～2歳	53	20	6	4	0
3～5歳	41	25	4	1	0
6歳	19	17	6	1	0
未就学児計	113	62	16	6	0
1年生	173	132	49	26	2
2年生	147	108	37	19	4

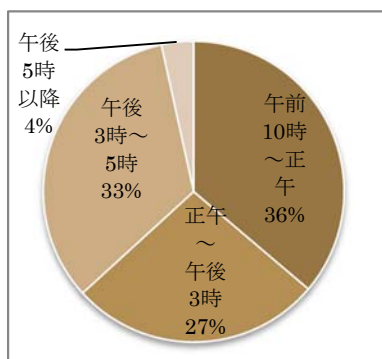
●よく利用する曜日はいつですか？

	月～金曜日	土曜日	日曜日・祝日	無回答
0～2歳	49	17	10	3
3～5歳	38	19	14	1
6歳	22	12	13	0
未就学児計	109	48	37	4
1年生	132	109	93	18
2年生	119	88	91	21

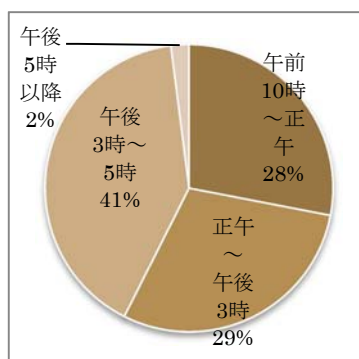
●よく利用する時間帯はいつですか？

	午前10時～正午	正午～午後3時	午後3時～5時	午後5時以降	無回答
0～2歳	36	21	13	2	0
3～5歳	19	16	28	1	1
6歳	8	10	17	3	0
未就学児計	63	47	58	6	1
1年生	83	87	120	6	14
2年生	62	78	107	10	25

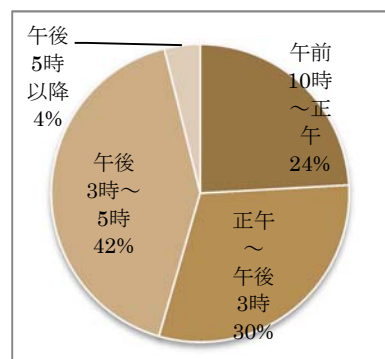
未就学児（0～6歳児がいる世帯）



1年生（ブックスタート開始初年度）



2年生（ブックスタート実施なし）



●おはなし会などの子ども行事に、参加したことがありますか？

	はい	いいえ	無回答
0～2歳	41	25	0
3～5歳	35	23	0
6歳	19	12	1
未就学児計	95	60	1
1年生	113	161	7
2年生	76	165	22



6)「子どもの読書」や「図書館」についてのご希望やご意見（自由記述）

【子どもの読書について】

◆本好きな子になってほしいので、できる限り寝る前の読み聞かせなどを続けていきたい。

◆私が子どものころは情報収集源は本であったが、最近はテレビ・インターネット等が発達しすぎていて、過剰といえるほどの情報があふれている。情報を与える側の一方的な考え方であり、与えられる側に選択する余地がない。これを解決できるのは本に接する時間を増やすことだと思う。

◆ほとんど毎日、本を読んであげ、本の好きな子どもになった。でもやはり周りの進んだおもしろいこと、ゲームやおもちゃの誘惑に勝てず、あまり本を手にするところを見ない。「おもしろい」「楽しい」ということが、どういう事か悩んでいる。本は好きだけど、自分では読もうとしない。まだ6歳だからでしょうか。毎日読んでいたのが、度が過ぎて自分で読む気がしないのでしょうか。理想と現実の違いに悩んでいる。

◆本を読むことの大切さを感じている。テレビやゲームが中心の生活になりつつある今だからこそ、本を幼いころから読み聞かせることで親子のつながりや子どもの世界が広がることと思う。我が家ではゲームはなくテレビも夕食後はつけていない。ほぼ毎晩ベッドの中で本を子どもたちと読んでいるが本当に本は楽しいと感じている。学校での読み聞かせ活動も楽しい。子どもたちのキラキラと輝く眼を見ていると自分もうれしく感じて元気をもらえる。多くの子どもが本好きになってくれることを願っている。

◆絵本はたくさんあり、いつも何を読ませたら良いかと迷う。「本」はいつでもどこへでも知らない世界へ行く扉だと思う。図書館では自分もたくさん本を借りて良く寝る前に読んでいる。きっとそんな親の姿に子どもも影響を受けることだろう。図書館の存在、スタッフの方々には感謝でいっぱい。

◆学校から本を借りるようになってから、図書館を利用する回数が減ってしまったが、毎日なにかしら本を読んでいる。最近子ども自身が自分で読みたいくて、読み聞かせの時間はぐっと減ってしまったがそれも成長の過程なのかと思う。

◆保育園時代は親が本を選んで購入し、読み聞かせることが多かったのだが、小学生になってからは子ども自身が学校図書館で好きな本をえらべるようになり、子どもの読書の世界が広がったように感じている。

◆読書は文章を読み、理解する力がつくのでとても大切だと思う。それはわかっているのだが、なかなか一緒に読んであげたりする時間がなく、本が身近なものではないのが現実だ。借りにいっても返しに行くことを考えると仕事をしているので時間がなくて、ついやめてしまう。たとえば週に1度でも移動図書館が近くに来てくれると子どもだけでも利用できるのうれしい。

◆3人の子供がいるが、いちばん上の中3(男)は小さい頃にはよく読み聞かせをしましたが、今となっては、ほとんど読書の習慣がありません。小1と小6の二人(女)は本好きでよく読んでいる。親自身も本が大好きで、よく書店で購入したりしている。読んで楽しかった本は、子どもたちは繰り返し図書館で借りたりしている。

◆大人も子どもも本を読むのは良いことだと思う。

◆子どもの読書習慣は、やはり親次第だと思う。子どもの前に親が本好きかどうかの方が大事。

◆小さいころからの読み聞かせはとても重要だと思う。親の自分が小さい時に読んで好きだったお話の本を子どもも好きで借りてきたりすると、自分の子なんだなと思ったりする。セリフの読み方などは親のマネをしていると思う。下の子の方が読んであげる機会が少ないので、これからもう少し読み聞かせの機会を増やそうと思った。

◆家や教室に常に自由に子どもが手に取れる本を置いておくことの方が大事で、「自分で選んだ本が楽しかった」という気持ちを子どもにたくさん感じてほしいと思い接している。

◆家庭内で親が本を読んでいる姿を見せないで、いくら(子どもに)本を読みなさいといってもまったく効果はないと思う。

◆(親の)自分が本が好きで、本の良さも日々感じているので、本好きになってほしいと思っはいるが、自分が完全に個人の楽しみとして読書をしているので、そこに楽しみを見出せない子は無理をさせなくても良いという気がしている。ただ、本を読んだ方がより世界が広がりやすいとも思うので、本に出会うきっかけとして図書館は大切だと思う。

◆読書は子どもの心と頭の栄養になっていると考えている。ただ自分が好きな本を読ませるのではなく、積極的に学校などで様々な分野の本を紹介して、アンテナを張れるように育ててほしいと願っている。読書の習慣は突然身に付くものではないから、幼いころは周りの大人の影響が重要だと思う。学校図書館の充実、司書の方やおはなしグループの方々との連携を望んでいる。ライトノベルばかり読む子が増えているが、活字を読む魅力を積極的に伝えてほしい。

◆自分で学校や図書館で本を選んでくるようになり、(親が)「こういうのが好きなんだ」と新たな発見を楽しんでいる。

◆本好きになってほしいという思いで読み聞かせを始めた。7歳の長男は本好きに育っている。本が好きな子は情緒豊かなイメージがあり、そんなふうになってもらいたい。小さい頃から絵本に親しんでいたせいか、字を覚えたり音読なども苦労せずにできている。

◆言葉の発育にとってもよいと思うし、想像力がつくので本を読むのはとてもよいと思う。もつと図書館を利用して、子どもとのコミュニケーションのために読み聞かせをしていきたい。

◆「読書」は習慣だと思う。本が好きになるようにと毎日読んであげていた。自分で読めるようになってからはあまり読まなくなったが、読書週間などと一緒に楽しんでいる。姉が妹に小さいころから読んであげたりもしている。おかげで姉妹は図書館によくお世話になっている。子どもだけで行っても安心に思う。何度も読んであげた本は忘れず、何度読んでも良い本である。図書館で気に入った本を買ったりもする。我が家にとって本・読書は必要なものです。

◆静かに集中して本を読める環境を作ってほしいと思う。まだまだ知らない本がたくさんあるので、子どもにわかりやすく、興味を持つような本の紹介をしてほしいと思う。

◆インターネットの時代ですが、親や大人が紙の書物の活字を読んでいる姿を見せて子どもにもそうしてほしいと思う。

◆自分が本が好きなので、子どもにも本で味わえる気づきや喜びやわくわくした気持ちを持ってほしい。

◆子どもが選ぶ本を借りるようにしている。楽しい本を選ぶのが上手なので、親も子どもたちも寝る前の時間を楽しみにしている。ただ、親としては子どもの心にジーンと響くような感動できる本をゆっくりゆったり読んであげたい気持ちがある。でもどんな本を選べばよいかよくわからない。中央図書館ではおすすめの本が展示してあるが、地域センター図書室ではそれがないのが残念。

◆子どもを育てるとき、「外でたくさん遊ばせる」と「本をたくさん読む」を大事にしたいと思っていた。読書好きになるといいなと思いつつ、押し付けたりせずに、ただ親としては自分も楽しみながら読み聞かせをできる範囲でしてきたが、結構本を読む子になったのでよかった。最近は漫画の方が多いのだが。

◆乳幼児期に親子で一緒に本を読むことは、なくてはならないコミュニケーションだったと思う。

中央図書館は子ども専用のスペースがあって、おすすめの絵本が棚の上に面陳してあって、とても助かった。おかげさまで、小学生になって分厚い本を一人で楽しく読んだり、親に読み聞かせをしてくれたりと充実した生活の糧になっている。

◆親の自分も毎晩寝る前に父か母が読み聞かせをしてくれていたのを覚えている。だからというわけではないが自然に自分も読んであげるようになった。これからも親子が楽しめる本をたくさん紹介してほしい。本のことで困っているとき、丁寧に対応してくれるので安心して相談できる。

◆子どもの頃から本を読むことに親しんでいると、成長していく中でもずっと身近に感じられ、自然と本に手がのびると思う。今は少し時間が空くとポータブルゲームをすぐに手にしがちですが、それが本に向いてくれるといいなと思う。

◆子どもたちは高学年になっても読み聞かせが好きです。幼児向けだけでなく、高学年を対象とした読み聞かせの会があったらいいと思う。

◆どこでもできるのが読書だと思う。ゲームではなく本を持たせたいと心がけている。

◆最近では新古書店などに子どもと一緒に行って、児童書を買うことが多くなった。借りてきた本と違い「自分の本」というのは愛着もわき、大事に何度も読んでいる。就学前には毎晩読み聞かせをしていたが、今では自分で読んだり、下の子にせがまれて本を読んであげたりする姿を見ている。

◆言葉の発育にとってもよいと思うし、想像力がつくので本を読むのはとてもよいと思う。もっと図書館利用して、子どもとのコミュニケーションのために読み聞かせをしていきたい。

◆仕事をする親にとって、なかなか一緒に図書館へというのは難しい。保育園や学校での取り組みに期待するところが大きい。その点、狛江市小学校と図書館の連携による図書の充実はとてもすてきで、ありがたいことと思う。

◆もちろん子どもの頃からたくさん読み聞かせをしてあげることは良いことと思うが、だからといって大人になって読書するとか本好きになるとは限らない。自分で行きたいと思うようになってからでも良いと思う。図書館の利用は、育児中からいければよかったけれど、仕事をしているとなかなか時間が作れなかった。

◆親がよく本を読む家庭の子は本好きになる、または本が身近にある家庭では、自然に子どもが本に親しみを持つというのは、少なくとも我が家では違った。児童書から文芸書までかなりの蔵書量が家の中にある方だと思うが、これは読んで欲しいと思って薦めても子どもは身近にもっと簡単に楽しめるゲームをやりたいがる。かなり無理をして本を借りに行ったり、強制的に読書の時間を作るようにした時期もありましたが、自ら進んで図書館に行きたい、こういう本を読みたいなど、なかなかこちらが望む意見は引き出せない。自分自身、子どものころは本が身近でなく、読書は嫌いだった。大人になってしかもかなり努力した数年を経て、かなりの読書好きになったのですがやはり「努力」が必要だろうか。働きかけは、親が頑張るべき事なのか悩みどころだ。

◆子どもの想像力を高めるには、読書が良いと思う。

◆子どもがよく本を読むようになるには、本に触れる機会がより多くあることが一番大切だとおもう。学校や家庭だけでなく、図書館が自宅近くにあったことは我が子にとってとても良かったと感じる。

◆くり返す言葉が出てくる絵本や身近な動物が出てくるものなど、幅広く読んでいる。子どもが自分で選んで絵本を手取るようになってきて、親子で楽しめるようになってきた。さまざまな図書館行事に参加して、子どものためにも絵本にたくさんふれさせたいと思う。

◆保育園が図書館に近いので、園で読んでもらった本を改めて借りたりしている。

【ブックスタート事業に関すること】

◆検診時にとても親身になって本を紹介してくださった。その場に読み聞かせコーナーを設けたらいいと感じた。

◆ブックスタートはとても良いことだと思う。今後もぜひ続けてほしい。

◆もらった絵本(『いないいないばあ』『じゃあじゃあびりびり』)がうちでは人気です。

◆読み聞かせに関心があったので、ブックスタートは大きなきっかけとなった。ボール紙でできた赤ちゃん絵本(ボードブック)をブックスタートでもらったことで、まだ本に興味を示す前の赤ちゃんでもおもちゃとして絵本を楽しめることを実感し、今日の息子の本好きにつながったものと思っている。

【おはなし会やイベント、その他に関すること】

- ◆おはなし会がとても楽しかったので、また参加したい。(3)
- ◆読み聞かせの大切さに気付かせてもらった良い機会だった。
- ◆おはなし会の回数を増やしてほしい。(2)
- ◆平日なので、興味はあるが参加できない。
- ◆地域センターでもおはなし会を定期的の実施してほしい。(4)
- ◆各図書室で特色あるおはなし会を実施してほしい。
- ◆子どもの本に詳しい人がおはなし会を担当してほしい。
- ◆南部地域センター図書室でのおはなし会を楽しみにしている。七夕やクリスマス会も楽しかったと大喜びしている。
- ◆上和泉地域センターのおはなし会を復活してほしい。(2)
- ◆図書リサイクルをまた実施してほしい。
- ◆図書リサイクルの子ども向けイベント(工作教室)は良いことだと思う。
- ◆各家庭で読まれなくなって処分に困る本をまとめて、どこか喜ばれるところに寄付できたらよいと思う。
- ◆学童に本を増やしてほしい。

【図書館利用に関すること】

- ◆午前9時から開館してほしい。(3)

- ◆祝日も開館してほしい。(4)
- ◆夜 7 時まで開いているので助かる。
- ◆宅配を利用できるようになると便利だ。
- ◆大型絵本の返却が窓口でしかできないのが不便に思う。
- ◆ひとり8冊も借りられるので助かる。(世田谷は5冊なので足りない)
- ◆「返却期限のおしらせ」レシートに図書館の電話番号を記載してほしい。
- ◆期限までにやむを得ない理由でどうしても本を返却できない時には、予約があっても延長できるとよい。
- ◆図書館員が丁寧に対応してくれて利用しやすい。
- ◆図書館員の中にも丁寧な方、感じの良い方、高圧的な方、様々なタイプがいるようだが、利用者側の目線で仕事をしてもらいたい。
- ◆小さな子どもは騒いでしまうので図書館に連れて行けない。もちろん騒いではいけないが、気兼ねなく入れる雰囲気があると良いと思う。
- ◆子どもが騒いでしまうのが気になり、家で読んでいる。利用マナーがだんだんとわかればよいと思う。
- ◆子どもが図書館好きになるように、スタンプカードを作ってもらいたい。
- ◆子どもが本好きでよく図書館を利用している。買うよりも借りることができて大変ありがたい。
- ◆子どもが小さい頃は衛生面が気になって購入していた。今後は図書館も利用したい。
- ◆利用マナー(本の取扱い)の悪さ(食べこぼしや破損・ラクガキ)に驚いている。
- ◆公共物の衛生面が気になり、あまり利用していない。
- ◆自分が図書館に行く習慣がなく(人が一度使ったものが苦手)本屋に行って購入する。子どもは学校図書館で借りられるのであえて図書館には行かない。
- ◆きれいで新しい本がたくさんあると読む気が余計におこるかもしれない。
- ◆魅力的な本にあまり巡り合えない。

- ◆子どもと一緒に利用したいと思うが、仕事などでなかなか余裕がない。
- ◆子どもが小学校に入ってから、学校図書館と書店を利用している。図書館はまだ一人で行かせることができないし、放課後は習い事で忙しくて行けない。
- ◆(見た目にはわからないが)少々障害のある子どものため、図書館でも興奮してしまいうるさくしてしまった時に、注意されて足が遠のいてしまった。
- ◆子どもがいて、自分が本棚から本を探すのは難しく、職員の方に探してもらう時間も待てない。
- ◆市内全部の図書館に学習室やインターネットが手軽にできるコーナーがほしい。または、司書の方やインターネットの易しい使い方を教えてくれるような方も配置(ボランティア登録をして人材活用)してくれると、本好きの子どもや学ぶことが好きな子どもが増えると思う。
- ◆子どもの本選びはなかなか難しいので、年齢別などで推薦図書リストがあるのはとてもありがたい。季節の展示コーナーなどもよく参考にしている。(2)
- ◆狛江の図書館は充実していると思う。子どももおはなし会などをとても楽しみにしている。
- ◆絵本の紹介やくーすけの会(おはなしボランティア)など熱心に取り組んでいると思う。
- ◆親子で利用している。本についてなんでも聞けるので助かっている。
- ◆中央図書館の子ども用のおすすめコーナーはよく利用している。アタリ！？が多くて楽しみにしている。
- ◆予約サービスで本の取り置きをしてもらえるのが助かる。自宅でインターネット予約できるので、来館してカウンターですぐ受け取れる。(5)
- ◆予約確保の連絡をEメールでもらえるのが助かる。
- ◆予約した本をコンビニなどで受け取れるサービスがほしい。
- ◆今後も図書館を利用して素敵な本に出会いたいと思う。(3)
- ◆自分が学生の頃から図書館が大好きだったにも関わらず、最近は読書習慣がなくなり、子どもとも利用していなかったのが、今後はおはなし会に参加するなどして図書館になじんでいけたらよいと思う。
- ◆楽しい本やためになる本をわかる所に置き、どんどんすすめてほしい。

【図書館施設に関すること】

◆図書施設の規模が小さく、全体的に不十分なので改善してほしい。(23)

- ・中央図書館の老朽化
- ・閲覧席が少ない。
- ・学習室がほしい。
- ・居心地の良い雰囲気作り。
- ・狭くて暗い雰囲気、圧迫感があり利用したい気持ちにならない。
- ・テラス席や喫茶コーナーがあるとよい。
- ・子ども向け検索システムの台数を増やしてほしい。

◆衛生管理をしっかりしてほしい。(2)

◆駅前に返却ポストを設置するなど、返却手段を多様化してほしい。(5)

◆本棚に入りきらない本が横倒しに置かれて見えにくい。本が減るのではなく、本棚が増えるといい。

◆中央図書館移設の話があると聞いた。駅の近くの便利な所にあるからこそ気軽に立ち寄るのだと思う。中央図書館はいつも色々な年代の人でいっぱいだから、立派な施設ではなく、愛される図書館がよいと思う。

◆財政が厳しいのかもしれないが、図書館は年代を問わず、市民すべての財産となるもの。図書館の充実を切に願う。

◆子どもスペースの充実(22)

- ・小さな子ども連れでも気兼ねなく利用できるたらい。
- ・子どもが通いやすい雰囲気作り。
- ・子ども用カウンターの設置。
- ・小学生の学習スペース、インターネット設備。
- ・授乳室の設置

◆子どもが気軽に書けるおすすめ本の掲示板のようなものが館内にあったらおもしろいと思う。フリーノートより壁面にメモカードを貼るようなタイプのほうが目につきやすい。

◆子どもの本だけの「子ども図書館」があったらうれしい。児童館のように、母親同士のコミュニケーションがはかりやすいような気がする。

◆移動図書館があったらよい。(3)

【図書館の蔵書に関すること】

◆蔵書冊数を増やしてほしい。(9)

- ・他市に比べて本数が少ない
- ・話題作が何カ月も予約で待つ
- ・文庫本の量

◆蔵書の種類を増やしてほしい。(9)

- ・他市に比べて種類が少ない
- ・雑誌
- ・洋書、世界の絵本
- ・美術書
- ・人気の本
- ・子ども向けの易しい伝記、ふりがなの多いシートン動物記
- ・ジブリ(トトロなど)の本
- ・しつけ(トイレ・挨拶など)の本

◆児童図書をより充実してほしい。(4)

◆所蔵数は増やしてほしいが、今の拠点を変えないでほしい。

◆古くて汚れた本が多いので、新しい本を増やしてほしい。(4)

◆大人数が読むから仕方がないが、破損本は買い替えるべきだ。

◆食べこぼしのシミなどが気になる。本は大切にしてほしい。

◆新しい本をいろいろ揃えてくれるよりも図書館の方が読んでもらいたいという本をいろいろ薦めてほしい。本のプロの方が薦める本がたくさん読めたら嬉しい。

◆貸し出し回数の多い本のランキングなどがあつたらよい。

◆書架配置について

- ・本が探しづらい(2)
- ・絵本を探しやすくしてほしい(8)
- ・対象年齢がわかるようにしてほしい
- ・作者別にしてほしい
- ・季節や新しい本などで分かれているとよい
- ・絵本が出版社別なので選びやすい
- ・子どもの本と育児関連書を近くに置いてほしい

◆どんな絵本を選んでよいかわからないので、おはなし会で紹介される絵本を参考にしたり、赤ちゃん絵本コーナーで手に取ったりしている。

- ◆赤ちゃん絵本コーナーのような2・3歳向けのコーナーがあるとよい。
- ◆絵本以外の児童図書について、おすすめの本の展示を増やしてほしい。
- ◆文庫に帯を貼ってある本は選びやすいので、なるべく帯を貼ってほしい。
- ◆大型絵本や紙芝居があったので、それを借りて今度、学校で読んでみたい。
- ◆道徳教育、知育教材、映画等のDVD、クラシック音楽CDを(将来的に)貸し出してほしい。

【各地域センター図書室・西河原公民館図書室に関すること】

- ◆開館時間を延長してほしい。(54)
 - ・午前中から開けてほしい
 - ・夜7時まで開けてほしい
 - ・中央図書館まで子どもを一人で行かせられないので、せめて土日曜や夏休みなどは午前中から開けてほしい
- ◆蔵書を増やしてほしい。
- ◆読むスペースが狭く、大人が座って読んでいて子どもがゆっくり利用できない。スペース確保は難しいと思うが、子ども優先の曜日や時間帯があると、もっと図書館が身近になると思う。
- ◆図書室が狭く、閲覧スペースが少ないので残念。
- ◆西河原図書室
 - ・スタッフの方々の対応はいつも丁寧で、子どもたちにとっても安心して質問できたりするようでありがたく思っている。(2)
 - ・子どもでも使える踏み台を(本棚の)そばに置いてほしい。
 - ・床に座って読める場所が欲しい。
 - ・本が雑然としていて、とても探しにくい。壁に貼ってある案内なども古い。
- ◆野川地域センター図書室
 - ・よく利用している。小さな子どもの目線におもしろい本があってありがたい。
 - ・子ども向けの本のポスターを子どもが見て選んだりしている。
- ◆上和泉地域センター図書室
 - ・整理され、陳列もきれい。

◆岩戸地域センター図書室

- ・よく利用している。受付の方も親切にしてくれている。
- ・暗いので、照明照度をあげたほうがよい。

◆南部地域センター

- ・よく利用している。おすすめ本が参考になる。
- ・幼児が絵本を自由に読める量の読書スペースがあって、親も他の大人の方に迷惑にならないように本を選ぶことができとてもありがたい。
- ・一番見やすくわかりやすい。
- ・職員の対応が良いので、よく借りている。

【学校・学校図書館に関すること】

◆家でゆっくり読書する時間と環境がつかれないので、学校で1日10分くらいでも取り組んでもらえると子どもも習慣になって良いと思う。家庭でも努力したい。

◆学校の中で、読んだ本の紹介や本の中身について話し合うような時間があるといいなと感じた。

◆小1くらいから地域の図書館に通うイベントがあるとよい。図書館の利用指導やマナーを身につける機会になると思う。

◆夏休みに配布されるおすすめ本のリストが市内小学校共通のため、図書館に借りにいっても在庫がないことが多く困った(わざわざ世田谷の図書館に借りに行く人もいた)。図書館と学校が連携して、何かスムーズに借りられる方法を考えてほしい。

◆自分が子どもの頃と比べると、現代の小学校は「本を読む」ということに対して、きちんと取り組んでいるように見える。そのおかげもあり、ゲームばかりやるのではなく、家でも本を読むことが多い。

◆子どもが就学前なのでよく事情を知らないが、学校生活の中でも本に親しむ機会があるとよい。

◆いろいろな本があるようで子どもが楽しそうにしている。いつもありがとうございます。

◆本当はもっと読書を好きになってほしいのだが、自分があまり好きでなかったのであきらめている。申し訳ないが、学校で読書の楽しさを感じさせてほしい。

◆子どもにあまり読んで欲しくない本(殺人等)が含まれている。

◆常に開いていればよいと思う。

◆毎週本を学校図書館から借りて喜んで読んでいる。興味を引く本がたくさんあって、2冊しか借りられないのを残念がることもある。静かな子がとても本に熱中して、余計に静かだ。

◆小学校に行くようになり、自分で本をすすんで読むようになった。学校で「図書の時間」があることが良い影響となっていると思う。

◆図書の時間におもしろい興味がわくような本を読み聞かせて、読みたい本を身近に感じてほしい。

家庭における乳幼児期の読書に関するアンケート のお願い

狛江市立図書館では、家庭を対象とした子どもの読書環境の現状把握のためのアンケート を下記のとおり実施します。この結果をもとに、今後も図書館における児童サービスの向上に努めると共に、狛江市の子どもの読書活動推進に関する取り組みに反映させていく 予定です。どうぞ回答にご協力く ださいますようお願いいたします。

実施期間：平成 22 年 12 月 8 日（水）から平成 23 年 1 月 31 日（月）まで

実施場所：狛江市立中央図書館および地域センター図書室・西河原公民館図書室

記入方法：質問は項目選択と一部記述になっています。該当する項目の□にレ点でチェックし、必要に応じて具体的な内容をご記入く ださい。

問い合わせ：中央図書館 児童サービス担当 Tel03-3488-4414

記入日 平成 年 月 日

1) 回答者の年齢について

●アンケート を記入される方は、おいく つですか？

☐ 20 歳代 ☐ 30 歳代 ☐ 40 歳代 ☐ その他

●お子さんは、おいく つですか？（複数回答可）

☐ 0 ～ 2 歳 ☐ 3 ～ 5 歳 ☐ 6 歳以上

2) 読み聞かせについて

●絵本などの読み聞かせをしていますか？または、過去にしていたか？

☐ ほぼ毎日

☐ ときどき（週 _____ 回 ・ 月 _____ 回）程度

☐ ほとんどしない

☐ したことがない → 3) へ進んでく ださい

（ ほとんどしない・ したことがない理由

- はじめて読み聞かせをしたのは、いつ頃ですか？

____ 歳 ____ カ月 頃

- 読み聞かせをしてあげるのは、どんな時ですか？

☐ 遊びの中で

☐ お昼寝や夜寝る前など

☐ その他(具体的に: _____)

- おもに読み聞かせをするのは、どなたですか？

☐ 母親

☐ 父親

☐ 祖父母

☐ その他(具体的に: _____)

- お子さんに絵本を読んであげることは、楽しいですか？

☐ はい

☐ いいえ

☐ どちらともいえない

(いずれも理由

- どのような目的で読み聞かせをして(または読書をすすめて)いますか？(複数回答可)

☐ 本好きになってほしい

☐ お子さんの楽しみ

☐ 読み手の楽しみ

☐ 親子のふれあい

☐ 読書力をつける

☐ 学力の向上

☐ その他(具体的に: _____)

3) お子さんと本について

- お子さんは、本が好きですか？

☐ はい

☐ いいえ

☐ どちらともいえない

- おうちの中でお子さんの手が届くところに本がありますか？

☐ はい

☐ いいえ

- 絵本や子どもの本はどのようにして手に入れていますか？(複数回答可)

☐ 購入する

☐ 借りる

☐ その他(具体的に: _____)

- 借りる場合はどこから借りますか？(複数回答可)

☐ 図書館・図書施設

☐ 保育園・幼稚園

☐ 学校

☐ 児童館など児童施設

☐ その他(具体的に: _____)

●絵本や子どもの本は、どのようにして選んでいますか？（複数回答可）

☐図書館を利用する

☐書店を利用する

☐新聞や雑誌の広告などを見る

☐推薦リストやパンフレットなどを見る

☐その他（具体的に：_____）

●本を読む子を育てるには、何が必要とお考えですか？（複数回答可）

☐家庭での読書習慣

☐身近なおとなの働きかけ

☐保育園・幼稚園での働きかけ

☐小学校・中学校での働きかけ

☐学校図書館の充実

☐市立図書館の充実

☐その他（具体的に：_____）

4）ブックスタート 事業について

●粕江市立図書館では、0歳から登録して図書貸出券を作れることを知っていますか？

☐知っている（_____歳の時に登録済み） ☐知らなかった

☐知ってはいるが登録していない

☐登録していない理由 _____

●粕江市の3・4ヶ月児健康診査時に実施しているブックスタートは、受けましたか？

☐はい {
◎説明員のメッセージに、共感できましたか？
☐できた ☐できなかった ☐どちらともいえない
◎読み聞かせを行う機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか？
☐はい ☐いいえ ☐どちらともいえない
◎図書館を利用する機会が増えた、またはそのきっかけとなりましたか？
☐はい ☐いいえ ☐どちらともいえない

☐いいえ ◎受けなかった理由は、なんですか？

☐知らなかった ☐市外で受けた

☐その他（具体的に：_____）

5) 中央図書館や市内図書室の利用について

●お子さんと一緒に(またはお子さんと)図書館・図書施設をよく利用しますか？

☐月2回以上 ☐月1回くらい ☐年に数回

☐利用していない →6)へ進んでください

●よく利用する図書館・図書施設は、どこですか？(複数回答可)

☐中央図書館 ☐地域センター図書室 ☐西河原公民館図書室

☐その他(具体的な名称: _____)

●よく利用する曜日はいつですか？

☐月～金曜日 ☐土曜日 ☐日曜日・祝日

●よく利用する時間帯はいつですか？

☐午前10時～正午 ☐正午～午後3時 ☐午後3時～5時 ☐午後5時以降

●おはなし会などの子ども行事に、参加したことはありますか？

☐はい(具体的な内容: _____) ☐いいえ

6)「子どもの読書」や「図書館」についてのご希望やご意見

ご回答ありがとうございました

刊行物登録番号 H23-3

家庭における乳幼児期の読書環境に関する調査報告

平成 23 年 4 月 発行

[編集・発行者] 狛江市立中央図書館

〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目 1 番 5 号

電話 03-3488-4414

[印刷] 庁内印刷

[頒布価格] 無償